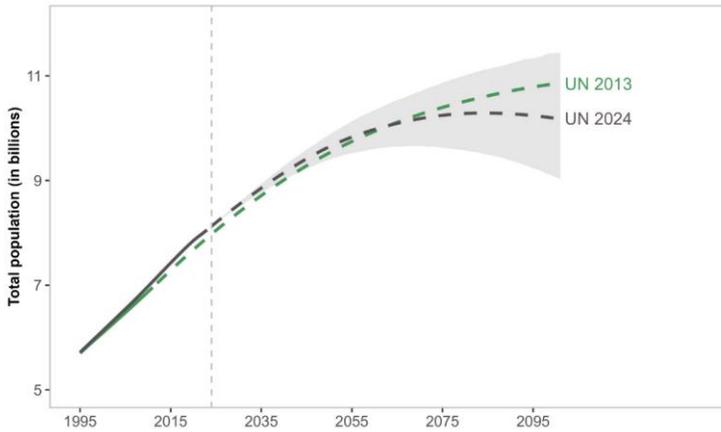


今後も人口が増加する中、「大量生産・消費・廃棄」を背景とした環境課題解決が必須である状況

人口予測※1

世界人口は今後も増加傾向であり
ピークアウトは2080年以降であると予測

Figure 1.1
Global population, according to United Nations (World Population Prospects) in 2013 and 2024, 1995–2100



今後10年のグローバルリスクの重要度ランキング※2

気候変動、生物多様性、資源枯渇に関するリスクがTOP 4を占める

<原文>

<和訳>

1 st	Extreme weather events	異常気象
2 nd	Biodiversity loss and ecosystem collapse	生物多様性の損失と生態系の崩壊
3 rd	Critical change to Earth systems	地球システムの危機的変化
4 th	Natural resource shortages	天然資源不足
5 th	Misinformation and disinformation	誤報と偽情報
6 th	Adverse outcomes of AI technologies	AI技術がもたらす有害事象
7 th	Inequality	不平等
8 th	Societal polarization	社会の二極化
9 th	Cyber espionage and warfare	サイバー諜報活動とサイバー戦争
10 th	Pollution	汚染

Risk categories

Economic
経済

Environmental
環境

Geopolitical
地政学

Societal
社会

Technological
技術

日本において、サーキュラーエコノミーは「地方創生」の目的を含めて、国家戦略としての取組が加速



2024/7/30 関係閣僚会議 総理発言

循環経済、いわゆるサーキュラーエコノミーの実現は、環境面の課題を始め、**地方創生**や経済安全保障といった社会課題の解決と経済成長を両立させる新しい資本主義を体現するものであり、**国家戦略として取り組むべき政策課題**です



2024/12/27 関係閣僚会議 総理発言

循環経済への移行は極めて重要な取組であります
各大臣は本日取りまとめた**政策パッケージ**を速やかに実行してください

GX投資の主要テーマの1つとして資源循環が取り上げられ、多くの産業に関わるテーマである

分野別投資戦略と、GX型サプライチェーンの関係



		官民投資額	GX経済移行債による主な投資促進策
製造業	鉄鋼	3兆円～	・製造プロセス転換に向けた設備投資支援（革新電炉、分解炉熱源のアモニア化、ケミカルサイクル、バイオケミカル、CCUS、バイオファイバー等への転換）
	化学	3兆円～	
	紙パルプ	1兆円～	
	セメント	1兆円～	
運輸	自動車	34兆円～	・電動車（乗用車）の導入支援 ・電動車（商用車）の導入支援
	蓄電池	7兆円～	・生産設備導入支援 ・定置用蓄電池導入支援
	航空機	4兆円～	・次世代航空機のコア技術開発
	SAF	1兆円～	・SAF製造・サプライチェーン整備支援
	船舶	3兆円～	・ゼロエミッション船等の生産設備導入支援
暮らし	暮らし	14兆円～	・家庭の断熱窓への改修 ・高効率給湯器の導入 ・商業・教育施設等の建築物の改修支援
	資源循環	2兆円～	・循環型ビジネスモデル構築支援
エネルギー	半導体	12兆円～	・パワー半導体等の生産設備導入支援 ・AI半導体、光電融合等の技術開発支援
	水素等	7兆円～	・既存原燃料との価格差に着目した支援 ・水素等の供給拠点の整備
	次世代再エネ	31兆円～	・H ₂ ・CO ₂ 削減太陽電池、浮体式洋上風力、水電解装置のサプライチェーン構築支援と、H ₂ ・CO ₂ 削減の導入支援
	原子力	1兆円～	・次世代革新炉の開発・建設
	CCS	4兆円～	・CCSバリエーション構築のための支援（適地の開発等）